

## ◆第33回全国製図コンクール審査結果がきました

1年生から3年生まで唯一同じ科目名で勉強するのが『製図』です。ものづくりは図面があって成り立つものですので、製図の力というのは機械科の生徒にとっては最も大切な能力になります。その能力を競う「製図コンクール」に機械から3年生6名の生徒が応募し、みごと賞を頂くことができました。図面の正確さや見た目のきれいさなどが審査対象となります。結果は次の通りです。

### 【最優秀賞】 丹 有生くん (3年機械科)

「全国2,614名中上位20名に与えられる賞です。これは、北海道・東北地方の高校生では唯一の受賞となります。ここ数年では北海道・東北地方での受賞者はいませんので、初めてか、もしくは久々の受賞となるようです。」

### 【優秀賞】 高橋 長仁くん (3年機械科)

長尾 昂 くん (3年機械科)

### 【佳作】 加藤 凌大くん (3年機械科)

丸藤 大和くん (3年機械科)

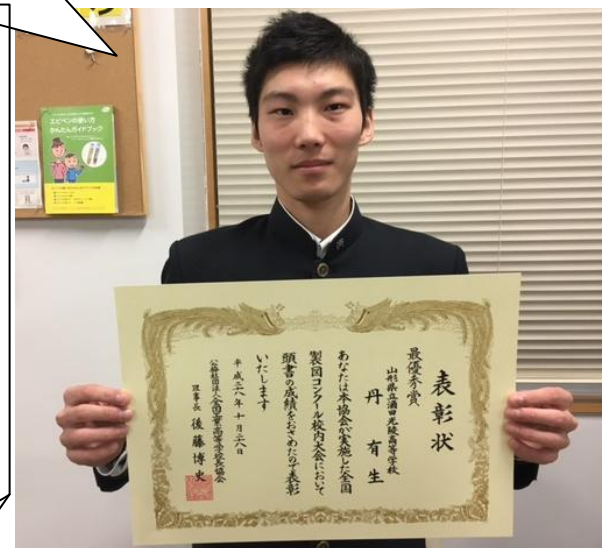
笹原 隼人くん (3年機械科)

# 受賞、おめでとうございます！

◎最優秀賞を受賞した丹くんを受賞の喜びを語ってもらいました。

私は小さい頃から絵を描くのが得意で、高校から始まった製図の授業も楽しく学ぶことができました。3年間学んだ知識と技能を生かして今回の図面は自分の納得のいくものができたと思っていました。結果として最優秀賞をいただくことができとてもうれしく思います。来年度からはこの経験を生かし、ものづくりの仕事に励んでいきたいと思っています。

丹くんは、1年生の頃から図面を書くのがとにかく早く、そして丁寧でした。周りの生徒たちよりも2時間くらいは早く製図を書くことができていました。今回の賞は丹くんの能力と3年間まじめに製図に取り組んだ結果だと思っています。本当におめでとうございます。



## ◆ヒヤリハット報告が増えています

機械科では実習棟における『ヒヤリハット』が起こると当事者から報告書を書いてもらい、それを実習棟の壁に掲示しています。この取り組みだけがを防止し、安全な実習・作業を目指していますが、最近軽微な『ヒヤリハット』の報告が増えています。先生の説明をよく聞き、安全についての意識をもう一度高めていきましょう。